

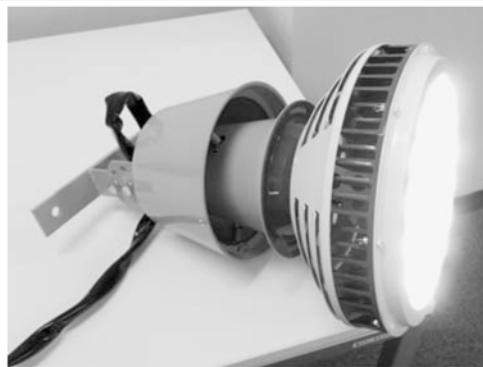
# 高温110度Cまで対応

## 日立プラント 工業用LED拡充

日立プラントメカニクス（山口県下松市、赤坂聡社長、08333・41・3080）は、工業用発光ダイオード（LED）照明の環境で使える高温タ「タフエコライト」の品ぞろえを拡充する。従来製品に比べて50度C高い110度Cまで

工場内のクレーンや天井に設置して利用する。LED素子のカバーを従来のアクリルからガラスに変え、留め具を改良することで耐熱性を高めた。使用可能温度は30～110度C。高温環境になりやすい鉄鋼メーカーや

素材メーカーを中心に訴求し、2017年度にタフエコライト全体で計700台の販売を目指す。高温タイプの重さは3・1kgで、消費電力は170ワット。従来の水銀灯とほぼ同等の寿命を実現した。現在、クレーン用照明でのLED比率は、50%未満にとどまるとされる。ただ20年に水銀灯の製造や輸出入を禁止する条約が施行されることもあり、今後はLED照明への置き換えが進むとみられる。



高温タイプの重さは3・1kgで、消費電力は170ワット。従来の水銀灯とほぼ同等の寿命を実現した。現在、クレーン用照明でのLED比率は、50%未満にとどまるとされる。ただ20年に水銀灯の製造や輸出入を禁止する条約が施行されることもあり、今後はLED照明への置き換えが進むとみられる。